



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1885号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 渡辺 雅晃 幹事 黒田 一



広重版画より 三島 朝霧

第1948回例会

2012.9.20晴

司 会

前田博利君

ロータリーソング

「日も風も星も」
指揮 瀬川幸信君

会長挨拶

会長 渡邊雅晃君

今真剣に教育を

暴徒化した中国のニュースを見るたびに国民教育の無さを感じます。日本では考えられないことです。3.11でも皆冷静でした。スーパーに押し入った人もいなかったし、銀行を襲った人もいません。国民は国の宝です、暴徒を出すのは国の恥です。

日本でも子供達が荒れています、国家は放置しておくつもりなのでしょうか？心配です。教育が如何に重要かを考えるべき時期なんだろうか、と考えます。争奪戦をする前に人を愛することを教えるべきです。他国民であろうとなかろうと人は皆つながっている筈です。どうして敵対心が先に来るのでしょうか。それは山岳部の一部の貧しい人達の仕業、と報道していますが、どうやらそれも事実と違っていそうです。国家がそれを支援してパートタイム料金を支払ってるらしい。もしこれが事実なら背筋が寒くなります。

ロータリアンは政治に関わりを持たないというルールが有りますが、教育、政治にもっと関わるべきではないでしょうか。世界の人々に愛をというのならもっと意見を言うべきです。触らないで変化等ありよう筈が有りません。利益追求の団体ではない筈です。世に向かって考えを訴えましょう、さらにさらに。

ロータリアンの皆さんは皆その力を持つてるのですからもったいないです。私たちができることは無限です。残りの人生をどう使いましょうか？...

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	43/52	82.69%	47/52	90.38%
今回	42/53	79.25%	会員総数	54名

欠席者 遠藤(正)君、勝間田君、窪田君、鈴木(郁)君、諏訪部(敏)君、登崎君、長田君、野田君、藤江君、花房君、矢野君

おめでとう

会員誕生日 平野君
入会記念日 遠藤(眞)君
奥様誕生日 諏訪部(照)君

幹事報告

幹事 黒田 一君

- ①10月4日(木)は例会日、例会場変更です。例会日10月7日(日)例会会場は見晴学園で開会点鐘は10時ですので、安全運転で遅れないように出席をお願い致します。
- ②11月18日(日)の山梨県甲府にて行われます、地区大会の出席は19名です。現在申込みをして頂いた方が都合が悪くなった方は10月12日までに幹事までお知らせ下さい。

2012～2013年度
国際ロータリー会長
田中 作次

奉仕を通じて平和を

委員会報告

米山記念館運営委員会

柴崎恵子君

米山梅吉記念館秋季例祭ご報告

平成24年9月15日(土)米山梅吉記念館ホールにて開会。
米山記念館の行事には春と秋の例会がありますが、秋の例祭は創立記念祭として開催されております。今年は米山記念館オープン以来最高の199名の来館者で盛況のうちに開かれました。主催者の挨拶、記念館報告に続き高野孫左エ門ガバナーのご挨拶をいただきました。記念講演は渡辺玉枝氏(アルピニスト)による「私の登った外国の山々」と題した講演で、今年5月73歳でエベレスト再登頂に成功のニュースがメディアで取り上げられた為、皆興味を持って拝聴しました。高校生の聴講生が多く若やいだ活気のあるすばらしい雰囲気でした。アトラクションは大塚良重氏(女優)のひとり語り、菊地寛作「藤十郎の恋」は艶やかな大人の魅力をかもしだすお話でした。次回春の例祭は米山翁の命日祭です。多くの方においていただきたいです。

職業奉仕委員会

委員長 前田房江君

職場見学について

日時：平成24年10月25日(木) 12:30より
場所：谷田木材 窪田明君の会社
見学倉庫 三島市谷田2297-1100
※見学場所の地図を後日配布予定

卓話

自己紹介

小野正博君

本年4月より入会させていただき初めての卓話でございます。自己紹介をさせていただきます。昭和40年沼津市我入道生まれ。今は妻の実家近くの沼津市小諏訪に住んでおります。祖父が三島市出身だったこともありお墓参りは誓願寺まで来ております。父親は沼津市大手町の出身。祖父、父ともに近鉄大一トラック(現在の近物レックス)に勤務しておりました。血液型はAB型。趣味は旅行、野球、麻雀です。ゴルフが趣味と言いたいところですがスコアは伸び悩んでおり専ら健康増進のためにやっているといったところ。趣味は野球と言いましたが実際にはソフトボールです。若い頃は野球をしておりましたが塁間が長く、投げても走っても届かなくなってきたところソフトボールなら塁間も短く、これならできると思い始めたのですが、最近はその塁間さえ長く感じる始末です。

沼津第三小から沼津第三中へ進学。当時の時代背景は3年B組欽八先生が全盛期の頃であり、学校にも同じような雰囲気があり生徒同士で正義と悪が対決していたような時代でした。高校は沼津東高に進学。野球部に所属していました。弱小チームで結局在籍中の3年間校歌を聞くこ

とができずに終わりました。高校3年時の甲子園出場チームは東海大第一高校。三島市出身の双子の杉本兄弟がピッチャーでした。大学は群馬県の高崎経済大学へ進学。特に特徴もない大学で特に特徴もない町だったのですが、政治家は立派な方が多く、福田赳夫さん、中曽根康弘さん、小淵恵三さんが同じ選挙区で毎回激戦を繰り広げておりました。群馬県で特徴的なのは「かかあ殿下とからっ風」といわれるように風と女性が異常に強かったこと。肝っ玉母さんのような方が多かったと記憶しております。また、夏の暑く天気がいい日は必ず夕立が降ること。天気がよい日でも傘は必需品でした。

昭和63年清水銀行に入行。当時はバブルが下降気味の時期であり、翌年のお正月に昭和天皇が崩御されたという時代です。沼津支店を皮切りに現在の三島支店まで11ヶ店。その中で三島市内の三島支店と松本支店は2回づつ在籍いたしました。直前は浜松の有玉支店に勤務。浜松と三島を比較した場合三島のほうが活気があるように感じます。今朝の新聞の地価も三島市周辺はほとんど下落しておりませんでした。浜松ではリーマンショックの後であり製造業中心の浜松は非常に厳しかった思いがあります。浜松では売り上げが2割、3割にまで減少した企業もあり回復に時間がかかりました。また東日本大震災、タイの洪水など続けざまに外的な悪化要因にさらされた時期でもありました。「やらまいか精神」という言葉をよく耳にします。印象としてはみんなやってやろうという意味に感じられますが、実際には一人の強烈なリーダーシップを持つ人がいてその人のリーダーシップに周りがついていくというのが正しいと伺いました。そのことがホンダやスズキが大企業となる要因であったと感じます。清水銀行は4月より頭取が交替し新しい中期経営計画を策定いたしました。メインテーマは「存在意義の発揮」です。この地域で存在意義を発揮できるようがんばってまいります。

先日研修の中で「気」について紹介されました。これは藤平光一さんの著書「成功の秘訣は氣にあり」に基づくものです。著者は王貞治、千代の富士、広岡監督などに影響を与えた方です。「好き」ではプラス、「嫌い」ではマイナスの気が出ていると言われます。気は「マインド」や「モチベーション」と言い換えられると思います。プラスの気を維持できれば仕事もうまく回るのであろうと考えます。筆者の考える5つの誓いをご紹介します。

- ・ 私は今からプラスの心で考えます。
- ・ プラスの心で話します。
- ・ プラスの心で行動します。
- ・ プラスの心で人に接します。
- ・ プラスの心で社会に貢献します。

というものです。やろうとしてもなかなかできないこと。普段からプラスの気持ちを持って行動したいと思います。私個人といたしましてもこの三島の地において存在感を発揮できるよう頑張ります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

※紙面の都合でスマイルは次号に掲載します。

(週報担当：石井 彰)